

Challenger Story

未来を見つけるヒント
～先輩たちが教えてくれます～

2018



広島新卒応援ハローワーク

はじめに

景気の回復で企業の採用意欲は昨年以上に高止まりで推移し、2019年度の就職戦線も売り手市場となることが予想されます。参考までに2018年の内定率（平成29年11月末）は過去最高で、すべての産業で新卒者を求めている現状にあります。2019年度についても、大企業・中小企業とも業績は良いため、採用活動も活発に展開されることが予想され、多くの企業で新卒者の獲得が困難な状況も考えられています。

景気が良いため応募する企業の選択肢が広がることは良いことですが、その一方で、「ブランド企業のみエントリーし続ける」「周りが言うから行ってみる」「自分の強みを理解せず、条件だけが良さそうだから応募する」等、リアリティーのない就職活動は必ず壁にあたります。

就活の早い段階から、自分のやりたいことや出来ることを具体化できる企業をしっかりと選んで頂きたいと思います。そのためには、自分自身と向き合い、自分の強みや今まで頑張ったこと、興味・関心が持てることなどを整理してみるということがとても重要となります。

厚生労働省の調査では、就職後3年以内に離職する大卒者が約3割にも上るというデータがあります。この状況は、数年前から高止まりで推移しており、加えて、就職後1年以内で離職されている割合も高く、約2割の方が退職しています。その原因は一体どこにあるのでしょうか。

離職理由の上位は、「労働時間・休日・休暇」「人間関係」「仕事内容が合わない」「賃金の条件が合わなかった」等、占めていますが、入社して「イメージと違う」「こんなはずでは」ということにならないためにも、会社の理念や社風、具体的な仕事内容を確認し、将来のイメージをつくりあげ、応募先を決めることがミスマッチ解消の1つの有効な手立てとなります。

広島新卒応援ハローワークは、毎年、皆さんが1日でも早く内定を獲得して頂くため、一人ひとりのニーズに応じたサポートで、多くの学生の笑顔に接してきました。しかしながら、その多くの学生で、それまでの道のりは決して平たんと言えるものではありませんでした。これらの体験は、皆さんの就活にきっと活かせると思います。

この度、内定を得られた方の並々ならぬ苦勞と笑顔に至るまでの、就職活動の実体験から「challenger story 2018」を作成しました。この冊子が、皆さんの就職活動にとって、希望への道標となれば幸いです。

末筆ながら、本誌作成にご協力を頂いた方々に、この紙面を借りて厚くお礼を申し上げます。今後のご活躍をお祈り申し上げます。

平成30年3月

広島新卒応援ハローワーク 室長

目次

◆N.Sさんの体験記（ブライダル 総合職）	1
◆S.Sさんの体験記（財団法人 営業職）	2
◆132さんの体験記（不動産 企画営業職）	3
◆Y.Tさんの体験記（金融 総合職）	4
◆O.Mさんの体験記（放送／通信 技術職）	5
◆企業選び、仕事選びのポイントは？	6
◆業界、企業研究はどのようにされましたか？	7
◆エントリーシートについて	
答えにくかった質問や印象に残った質問は？	8
◆面接について	
答えにくかった質問や印象に残った質問は？	9
◆グループディスカッションについて	
どんなテーマがありましたか？	11
担った役割、準備、コツやポイントなど	12
◆就職活動を振り返って・・・	
苦労した点や今だから思う…やっておけばよかったこと	13
◆後輩へのアドバイス、内定のポイントなど	15
◆ハローワークを利用して良かった点を教えて下さい！	17

N.Sさんの体験記

女性 音楽学部 演奏学科



内定先 (ブライダル 総合職)

エントリー数 約 21 社

就職活動を意識し始めた時期

3 年生 8 月頃

説明会参加数 約 30 社

活動に向けて動き出した時期

3 年生 10 月頃

選考に進んだ会社 約 8 社

選考が始まった時期

3 年生 3 月頃

OB・OG訪問人数 約 0 社

就職活動が終わった(内定した)時期

4 年生 5 月頃

企業選択・説明会・応募先選定

自分にしか出来ない仕事ができるか、海外で働くチャンスがあるかです。就職サイトで希望条件で検索し、該当する会社のホームページを片っ端から調べ、業界や企業の特徴を研究しました。また、気になる会社は説明会に参加し、詳しい情報や会社の雰囲気などを知るための手掛かりとしました。同じ業界でも、それぞれの説明を聞くことで、業界の知識が深まり、会社ごとの強みや雰囲気の違いを感じる事が出来ました。

履歴書・エントリーシート

1社のエントリーシートを作成するにも半日～1日かかったため、就職活動が本格化する3月以前にもっと業界研究や企業研究をしておけば良かったと感じました。また、エントリーシートは段々と書くのに慣れてくるため、数をこなしておくことも大事だと思いました。

面接・グループディスカッション

グループディスカッションで意識したのは「独りよがりにならない」という点です。一番の目的は時間内に意見をまとめることなので、周囲の人が発言する時間を奪ってまで自分の意見を述べるのはむしろマイナスです。笑顔で相槌を打ったり、自然体で参加することを心がけました。また、本題から逸れた方向に話が進んだ際に軌道修正が出来るよう常にテーマを頭に入れ、客観的な視点を持つことが大切だと思いました。

就職活動を振り返って

苦勞した点は県外での面接。少しでも就活にかかる費用を抑えるため夜行バスを利用していましたが、心身に疲労感が残り、体調を崩してしまったこともありました。自分の体を労わることも大切。面接での回答を固めすぎるのも良くないと感じました。暗記した文章を読んでいるような答え方は「暗記したんだな…」ということが分かります。集団面接では選考が進む度に、そういう方は減っていったように感じます。

広島新卒応援ハローワークを利用したきっかけや利用して良かったこと

エントリーシートの書き方や、面接、グループディスカッションの基礎的な知識は新卒応援ハローワークの講座で学びました。他大学の学生も参加している中、面接練習を行ったことで、実践的な力も身に付けることが出来ました。他の人の面接を見ることは非常に良い勉強になり、自分の面接に対する評価をもらうことが出来たのも客観的な意見を知る上で非常に参考になりました。担当者の方には書類の添削から就活をする上での相談まで、大変お世話になり、本当にここを利用して良かったと感じました。

広島新卒応援ハローワークの担当者から

N・Sさんが来所されたのは3年生の1月でした。とても意欲的な方で、ハローワークの就活ゼミ、グループディスカッション体験セミナーと積極的に参加され、やりたいことや自分をしっかり持ち、ホテルやブライダルを中心に検討されていました。学校の活動などもある中、目標をたて、しっかりと就活との両立をされていました。県外での就職を希望されていたため大変だったとは思いますが、限られた時間を調整しながら、前向きな精神と努力で内定を獲得されました。

S.Sさんの体験記

男性 経営学部 経営学科



新卒応援ハローワーク
イメージキャラクター
「ハロー・・・」

内定先 (財団法人 営業職)

エントリー数	約 30 社	就職活動を意識し始めた時期	3 年生 10 月頃
説明会参加数	約 20 社	活動に向けて動き出した時期	3 年生 10 月頃
選考に進んだ会社	約 15 社	選考が始まった時期	3 年生 3 月頃
OB・OG訪問人数	約 0 社	就職活動が終わった(内定した)時期	4 年生 9 月頃

企業選択・説明会・応募先選定

企業選びのポイントは地域社会に貢献できるか、医療に携わることができるかです。業界・企業研究は日経BPやリクナビ・マイナビを利用したり、会社のホームページがないときは企業説明会に参加し、分からないことは、とにかく質問するようにしていました。企業ホームページにある「若手社員の声」を特に参考にしました。どんな会社かが一番分かったと思ったからです。

履歴書・エントリーシート

志望動機に苦労しました。志望動機が書けないと受からないし・・・という思いで、必死に志望動機を書きましたが、内定はなかなかもらえませんでした。この経験から、「自分が入りたい会社があるのか?」が大前提として大事だと気づきました。まずはそついった会社を探してみてください。

面接・グループディスカッション

私は面接が苦手でした。とにかく笑顔を作ることができませんでした。ただ笑顔が面接ではとても重要です。大学生なので知識で大人を納得させることは難しいため、将来のポテンシャルの有無が大事だと思います。それを表現できるのが笑顔です。前向きな人という印象は重要です。練習を重ね、最後の最後でやっと笑顔で面接に臨むことができました。

就職活動を振り返って

私は内定が一つもないのに大手企業ばかり受けていました。大手は当然倍率が高く、ライバルは首都圏等の有名私立大の学生ばかりです。可能性はそう高くありません。大手でなくても有力な会社はたくさんあります。企業のブランド力ばかり気にするのではなく、中小企業にも目を向けるべきだと感じました。何社も落ちると自信がなくなりますが、落ちてくクヨクヨしないでください。後々に活かされていきます。

広島新卒応援ハローワークを利用したきっかけや利用して良かったこと

自己PR作成では会話の中から自分の良さを教えて下さるので、すごくやり易かったです。自分を客観的に見てもらえることはすごく良いことです。志望動機についても、どこでつまづいているかや文章校正等アドバイスしてもらって助かりました。面接対策は、よく聞かれる質問を覚えて下さったり、答えるときのしゃべり方についてもアドバイスしてくださり、自信を持って本番の面接に臨めました。

広島新卒応援ハローワークの担当者から

元々内気な方だったので、相談の中で就活やそれ以外のことも多く話して頂く時間を取りました。「人より数倍努力しないと追いつかない」「自信がない」と話されるので、「アドバイスに真剣に耳を傾け、準備に努力を惜しまないその姿勢が自分の武器になるのでは?」と自信の後押しをすると、最後は見事内定を勝ち取りました。

132さんの体験記

女性 学芸部 子ども（幼児教育）学科

内定先（不動産 企画営業職）



エントリー数

約 20~25 社

就職活動を意識し始めた時期

3 年生 5 月頃

説明会参加数

約 15 社

活動に向けて動き出した時期

3 年生 1 月頃

選考に進んだ会社

約 10 社

選考が始まった時期

3 年生 3 月頃

OB・OG訪問人数

約 0 社

就職活動が終わった（内定した）時期

4 年生 8 月頃

企業選択・説明会・応募先選定

なんだかんだ言ってもやりがい（やりたいこと、興味もてること、「経験」の中から楽しさを感じるかどうか）でした。企業研究は初めは条件で企業を選びがちで、そうすると志望動機が上手く書けず悩みました。軸をしっかりさせることが必要だと思います。ホームページがない時は会社説明会に参加することが手取り早いように思います。それからパンフレットなどから情報を集めました。

履歴書・エントリーシート

言いたいことが多すぎてうまくまとまらなかったり、状況説明になってしまうことが多々ありました。要点を絞って「どこを一番に出していくか」という決め手を作ることが大切だと思います。

面接・グループディスカッション

グループディスカッションで選んだ役割は臨機応変でした。役割は必ずしも必要ではなかったと思います。よく出されるテーマを学校などで練習したり、自分一人でも答えを整理してみるなどの引き出しを持つことは役立ちます。コツやポイントについては、何を聞かれているか瞬時に掴むこと。ある程度絞り込む方が伝えやすいです。（対象ターゲット・シチュエーション等）

就職活動を振り返って

基礎となるSPIやテストセンターの対策を早い段階でしておくべきでした。WEBテストは何とかできるけど、テストセンターは正直どうしようもなかったです。仕事は今後の生活・人生の一部となります。どうせなら皆さんには、生活を豊かにするための経験を積む時間にして欲しいなと思います。未来を楽しくできるかどうか、社会人を楽しめるかどうかはあなた次第ですよ！応援しています！

広島新卒応援ハローワークを利用したきっかけや利用して良かったこと

書類作成では、客観的な意見で添削して下さるので、文章もコンパクトになるし助かります。自分でもやり方が分かってきます。面接対策は、場数を踏むことや最終確認をすることができました。伝える上での要・不要を助言していただき自分のクセが見直せました。相談では、心の拠り所となって下さり心強かったです。失くしかけた自信を取り戻すことができました。

広島新卒応援ハローワークの担当者から

132さんは、企業に自分の思いを余すことなく伝えたいという気持ちは誰よりも強かったように思います。しかし、伝えたいことやアピールしたいことが「長くなりすぎる」ため、結果的に分かりづらくしていることが課題でした。「採用者が聞きたいこと」と「自分が伝えたいこと」は同じではないと理解してからは、要点を押さえ簡潔さが見られるようになりました。目の前の課題を全力で克服しようとする姿は印象的でした。今後のご活躍を楽しみにしています。

Y.Tさんの体験記

女性 政策部 政策学科

内定先 (金融 総合職)



新卒応援ハローワーク
イメージキャラクター
「ハロー・・・」

エントリー数

約 25 社

就職活動を意識し始めた時期

3 年生 7 月頃

説明会参加数

約 20 社

活動に向けて動き出した時期

3 年生 7 月頃

選考に進んだ会社

約 14 社

選考が始まった時期

4 年生 4 月頃

OB・OG訪問人数

約 0 社

就職活動が終わった(内定した)時期

4 年生 5.6 月頃

企業選択・説明会・応募先選定

広島県が本社の企業であり、女性の活躍が推進されているか。また、働き甲斐を感じて仕事ができるかどうか。会社四季報や広島県限定の業界地図を参考にして、企業を知り詳しいことはHPや実際に働いている知り合いの社員の方の話を積極的に聞いていました。ホームページがない時は周囲の人から話を聞いていました。ただ業界の絞り込みができなかったため、志望動機やエントリーシートに苦労しました。

履歴書・エントリーシート

もっと早い段階から自己分析をして、資料を作成すればよかったと思います。自分は解禁と同時に自己分析を始めたため、準備にもたつきハローワークの職員を困らせてしまったような気がします。

面接・グループディスカッション

集団面接の練習経験がなく本番に臨んだため、空気をつかむ意味でも練習は必要だと感じました。グループディスカッションはメンバーで流れが決まるため、早めに会場に行き自分がグループの雰囲気を作るくらいの意気込みが必要だと感じました。全員の名前を覚え、発言の少ない人に話を振るよう意識しリーダーのサポートに徹しました。

就職活動を振り返って

周りの内定が決まる中で焦りや不安があると思いますが、妥協せずに自分のペースで進めること。落ちたら自信をなくしてしまうかもしれませんが、「この企業は自分を見る目がなかった、もったいない」と思うくらい強気で臨んだ方が絶対に良いと思います。頑張ってください！

広島新卒応援ハローワークを利用したきっかけや利用して良かったこと

私は、京都からのUターン就職希望で、大学のキャリアセンターにも通えず周囲にUターンする友人も少なく相談できる人がいませんでした。そこで、インターネットでハローワークをみつけ利用してみると、本当に親身になり相談に乗って下さいました。大学だと学生も多く時間も取れない中、納得するまで向き合ってもらいました。就活のモチベーション維持のためにも、本当に精神的な支えであったハローワークの職員さんなしでは自分の内定はなかったと思います！

広島新卒応援ハローワークの担当者から

地元での就職希望であり、大学の休暇や授業の合間で帰省し、エントリーシートの添削や面接練習を利用されていました。一番の印象は明るく覇気があり、細目にメモを取りながら就活を進められたことです。選考が上手くいかない時でもネガティブに考えずに、次に進む切り替えも早かったと感じています。回数を追うごとに自信をつけられ、最終的に就職先を決められた時に変わらない笑顔で報告にられました。これからの活躍を期待しています。

O.Mさんの体験記

男性 経済学部（夜間） 経済学科



新卒応援ハローワーク
イメージキャラクター
「ハロー・・・」

内定先（放送／通信 技術職）

エントリー数 約 20~25 社

就職活動を意識し始めた時期 3 年生 6.7 月頃

説明会参加数 約 20 社

活動に向けて動き出した時期 3 年生 6 月頃

選考に進んだ会社 約 15 社

選考が始まった時期 3 年生 2 月頃

OB・OG訪問人数 約 0 社

就職活動が終わった（内定した）時期 4 年生 7 月頃

企業選択・説明会・応募先選定

地域（地元）に目に見える形で貢献したいという気持ち。その企業に入社後、やりたいと思った仕事に挑戦できる環境であるかどうか。ホームページの有無に関わらず、選考に進んだ企業についてはインターンシップに参加をし、それでほとんど企業研究を済ませました。情報が足りない場合はリクナビ等の支援サイトの企業ページや新聞の「広島経済」欄、転職サイトを閲覧するなどして補いました。

履歴書・エントリーシート

正直、どの業界どの企業でも「志望動機」を書くことが私は一番苦労しました。それを見ながら面接で質問されるので、新卒ハローワークなどの力も借りて書いていました。エントリーシートを面接で話すことを意識した内容で書くことができていたら就活も、もっとスムーズにできていたのかも…と思います。

面接・グループディスカッション

よく言われる「3大質問」など最低限の準備は必須です。準備を適切にしていた企業では、やはり内容の無い返答をしてしまいがちでした。反対意見もよく聞きますが、しゃべるのが少し苦手という方は少しくらは暗記で挑む方がベターだと私は思いました。

就職活動を振り返って

モチベーションを持続させるのが結構しんどかったので就活について相談できる友達がいればよかったと思います。私にも就活仲間もいたのですが、もっと協力すればよかったと思っています。話すときの「笑顔」と「言葉使い」が内定をもらった理由の1つであると自負しています。これだけは何がなんでも面接官に伝えるぞ!!という気持ちで話すことが出来れば、内定はいただけると思います!!頑張ってください。

広島新卒応援ハローワークを利用したきっかけや利用して良かったこと

時間はかかりますが書類などの相談に親身になってつきあってくれたことです。割と厳しく指導してもらえるので、自分が何故その会社を志望したのか、本当は何がやりたいかといった自己分析にもなったと思います。講座などに参加する事で自分と同じように苦労している就活仲間がいるという事を確認できたのも「1人じゃないんだな。」という気持ちになれて心強かったです。

広島新卒応援ハローワークの担当者から

就職活動の初めは、自己PRなどの応募書類は「～しました。」「～ができます。」などが羅列されていました。そこで、書類作成の目的や意味をお伝えすると、状況説明だけではなく、取組み内容や思いなども含めた書類に変化していきました。自分の進みたい方向が分からなくなる時もありましたが、最終的に希望する仕事に就職できたのはO.Mさんの努力の賜物です。

企業選び、仕事選びのポイントは？

興味（やりたいこと）

1番重視したことは、福利厚生よりも“本当に自分がしたいこと”です。周りの友達には、給料や福利厚生、休暇を見ている人が多かったのですが、私は会社の企業理念や自分の気持ち、熱意をそげるかということのポイントにしました。

業界に興味を持って、自分がやりたい仕事内容であるかが大切だと思いました。

福祉用具に興味があったので、福祉用具に関連した企業を中心に就職活動を行いました。また、年間休日・福利厚生等も重視しました。

食品企業で、開発を行えることと「健康」に携わる仕事。

人を支えることのできる仕事、人と深い繋がりが持てるような仕事がしたいと思い選んでいきました。

最終的に自分が「どういった仕事を今後していきたいか」を考え、選びました。

自分がやってみたい仕事があるかを軸にした。 インフラかB to Bメーカーかに拘った。

価値観（大切にしたいこと）

自己分析をした後に自分が将来なりたい姿や今までやってきたこと、大切にしてきたことを活かせる企業、または就職活動の軸を持ちその軸に沿った企業を選びました。

長い歴史を持つ企業であること。（苦しい時も乗り越えた力がある）

自分自身が成長できる、しっかり働けることと社員さんの仲が良いこと。

研修制度がしっかりしており人を育ててくれる企業。

様々な業務がある。仕事のスケールが大きいこと。

No1の製品、オンリーワンの技術を持っていること。→将来性がある。

自分の性格と、考えているライフスタイル（休日や給料等の条件）に合っているか。

会社の雰囲気が良いかどうか？ 長く続けることが出来るか？

完全週休二日制であること。（仕事と休みのメリハリがつけられる）

離職率が低く経営が安定している企業。 経営理念、会社の空気。

能力（強み、学び）

自分が何の仕事をしたのか決まっていなかったため、過去のアルバイトやボランティア経験を元に選びました。

法学部法律学科であったため、法律関係の仕事を希望していたこと及び自分のやりたい事と合っているか？

自分の特性を活かせる事。 学びが活かせる環境に関わる企業。

自分の学んできたことが生かせるか、福利厚生が整っているか。



先輩方は様々な視点から選んでいますね。
“充実した人生とは？”その人生を歩んでいくためには何が大切？
“やりがい？社会貢献？自己成長？etc…”など
まずは自分自身に問いかけることから始めてみてください。



業界・企業研究は どのようにされましたか？



【協力頂いた27名の方からの回答結果からみる傾向】（複数回答有）



日経新聞などで関連する記事やニュースを読みHPなどを精査し研究しました。又、志望メーカーの商品を扱っている店舗で店員さんから情報収集に努めました。

インターンシップに積極的参加。

まず、家族、友達と先生と十分に相談しながら、自分がどのような仕事に興味があるかを明らかにしました。それは一番大切だと思います。考えた上でその業界に関わる資料を収集。（マイナビ、就職応援の本、各就職説明会や個別の会社説明会参加）もしHPがない場合は、興味がある会社に連絡して資料を請求しました。

・会社説明会 企業のHP（同業他社のHPを見て比較） ・就職サイト（マイナビ、リクナビ、みん就）
・日経新聞ニュースで会社名を検索（その会社の取り組みやニュースが見られる）

会社のHP、リクナビ、マイナビでの検索、就職部、OB（卒業生）の方に直接メールで聞く。

会社のHP、リクナビ、マイナビ等のサイト、会社説明会に行った際にもらえるパンフレット等から企業研究をしました。主に、企業理念や業務内容、特色、先輩社員の声などを参考にしました。特に、先輩社員の声は、その会社を選んだ動機や、仕事の辛い部分や楽しい部分に分かるので参考になりました。

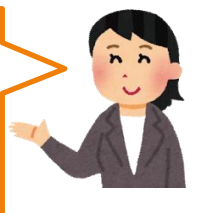
キャリアセンターなどにある資料、本屋さんに売っている業界地図を見て研究していました。
会社のHPがない時は、説明会があれば参加をしたり、電話で聞きたいことを聞いていました。

実際に、その会社の商品を食べたり、スーパーで商品の情報を得る。

各省庁個別説明会、官庁Watchingに参加。

テレビ局を目指していたので、説明会やHP、パンフレットを見ながら、会社ごとにまとめて比較できるようにしていました。また、実際にそれぞれの番組や取り組みを見てポイントや特徴、それぞれの強みや弱み、改善点も自分なりに考えて書き込んでいました。私は広島ローカル局を見ていましたが、対応しているキー局も見て含めてまとめていました。HPがない時や詳しく分からない時は、パンフレットをもらいに行ったり、会社に電話をして聞いたりもしました。

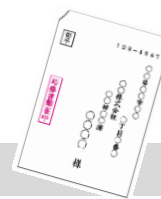
あなたがこれから働いていく企業・業界です。できるだけ多くのことを知りたいですよね。インターネットでの情報は気軽に手に入るものですが、ぜひ、企業訪問やOB訪問などを通して、できるだけ多くの生の声に接する機会を設けてはいかがでしょうか。活かした情報を自分自身の目と耳で集めていきましょう。



*HP…ホームページの略

エントリーシートについて

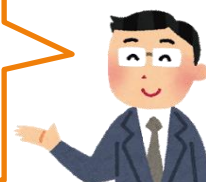
答えにくかった質問や印象に残った質問は？



- 今までで、周囲を“あつ”と言わせた出来事について教えてください。
- 自分を動物に例えると何ですか？理由も合わせて教えてください。
- 人生のターニングポイントは？
- あなたのセールスポイントは何ですか？あまり記入欄が大きくなり、短い言葉で自分を表現することに苦労した。
- このスペース（A4）で自分の個性を自由にPRして下さい。
- あなた自身にキャッチコピーをつけて、自己PRをして下さい。という質問で、センスを問われるものだと思ったので難しかったです。
- あなたの抱負はなんですか？
- あなたの信念は何ですか。（主に観光旅行のES）
- 自分が自主的に取り組んだことについて。
- 人生で一番辛かったこと、悲しかったこと、嬉しかったこと。
- 今までに直面した最大の困難と、それをどう乗り越えたかを教えてください。
- いままで「挑戦してきた事」「継続し続けている事」「成し遂げた事」など、あなたが一番自信を持って伝えられる事は何ですか？また、その経験を活かして今後どのように成長していきたいですか？（中学生から今まで振り返って書いてください。フォーマット、写真、イラストなど全て自由。）A4サイズ
- 私が入社したら「会社名」はこう変わる！どう変わる？A4（26行）企業研究をたくさんして、弱み強みをしっかり明確に考えた上で、自分のアピールポイントを照らし合わせながら作っていき、最後に自分はこういうことをしたいという具体的な内容をまとめるという書き方をしました。企業をほめるばかりではダメで改善点も指摘すること、自分の良いことだけをアピールするのではなく、ちゃんと等身大で伝えることが大切だと思います。あとは企業が求めていることや企業の性質をよく見て判断して伝え方を工夫することも大切だと思います。
- 仕事に生かせるあなたの強みを教えてください。強みを答えるだけなら簡単ですが、うまく仕事に繋げる様に考えるのが難しかったです。
- この企業で働きたいと思った理由を「自分の仕事に対する考え方」を踏まえて自分らしく表現してください。
- 入社後どのような仕事にチャレンジし、10年後はどうなりたいですか？自分の良いところをどう活かすかを踏まえて表現してください。
- 志望動機（きっかけとなった経験もふまえて400字）と入社して実現したいこと（300字）を別々に書かないといけなかったのですが、内容的にかがってしまいう上に分量も多かったのが苦労しました。
- その業界に関する問題点と自分の意見を記入するのが難しかったです。ガスの自由化に伴う自分の意見を述べてください。（エネルギー会社）食や味に関する自分の意見を述べてください。（食品会社）
- これからの福祉業界はどのようなことをすればよいか？
- 公務員として重要なこと。
- エネルギーのシステム改革についてどう思うか？
- あなたが考える弊社の強みと弱み。
- 第○希望？ その会社が第何志望に来るのか、正直に答えるべきかどうなのかを最初の頃に迷っており、答えにくく感じました。
- 会社に入りたい熱意を500～1000字で。
- あなたの弱み。



質問の種類は限りなくありますが、志望動機と自己PRの確認が中心となっていますね。「自分の強みを見つける自己分析」と「将来の自分が働くイメージを明確にする企業研究」が大切になります。また、「簡潔にわかりやすく」がポイントです。焦点を絞って書きましょう。



面接について

答えにくかった質問や印象に残った質問は？



○あなたの研究内容を弊社でどのように活かせますか？

○あなたの研究内容はどのように社会貢献できるものですか？

○もし、ここに受からなかった場合どうしますか？

○油まみれになる仕事でもやっていけるか？

○（選考を受けている企業、他社の選考状況を聞かれて）その中で行きたい企業順に順位を付けて下さい。

○あなたがこの会社に入ったことによってもたらすメリットは？

○同じゼミで何人も受けているが、他の人より誇れる点、アピールできる点を教えてください。

ポイント

自分の強みをエピソードを交えて伝えればOK！
高い目標設定で取り組んだ経験などをアピールできると良いですね。

○バイト先で良くある出来事は何ですか？

○事務職とは？

○技術的な質問。

○中学、高校で勉強した事。

○よく使うアプリは何ですか？

○友人にどう思われているか？

○親分肌タイプか？

○ホテルマンになったつもりで、ハンドタオルを私に渡してください。（実践型）

○気になるニュースを「2つ」教えてください。

○スーパー、コンビニで最近一番気になった商品を教えてください。

○TPPの今後について。

○アメリカがパリ協定から離脱した事に関してどう思うか？

○（2017年度の就職活動が売り手市場だったため）
売り手市場に関してどう思うか1分間で説明してください。

ポイント

社会に出る準備として世の中に関心を持っているかを確認されています。
ニュースをチェックして自分の考えを伝える準備をしましょう。

○企業選びの軸はなんですか？

○社会人とは？

○自分にとって「働く」とはどういったことか？

○やりがいとはどのような時に感じるか？

○（集団面接時に）隣の人の話（自己アピール等）を聞いて何を思ったか？

○今まで、皆で協力して成し遂げたことはありますか？

○協調性と主体性についてあなたの考えを教えてください。

○英語以外に何か別の言語を学ぶことは考えなかったのか？



ポイント

自分や他者を客観的に見て評価できるか、他者への配慮もできるか等を見えています。ほとんどの仕事は他者との連携が必要です。他者と協力して何かに取り組んだ経験を振り返っておきましょう。

答えにくかった質問や印象に残った質問は？



○履歴書で書いたエピソード以外または他の例がありますか？

○エントリーシートに書いていない自己PRを教えてください。

○弊社が今後何をすべきか？

○同業他社との違いを述べてください。

○他社を受ける時、どんなことを勉強したか？

○ホームページをみてどう思いましたか？

○代表（社長）の本や講演会は見たことがありますか？

○国と市、民間の違いは？（公務員受験）

○自社をより大きくグローバル化するには何が必要ですか？

○会社の事業内容、売上高、従業員数、事業を展開している地域などを細かく聞かれたこと。

○人生で失敗した経験を教えてください。それをどう乗り越えましたか？

○今まで21年間生きてきて、一番辛かったことは何ですか？

○今までにイラッとした経験は？

○挫折経験について。

○上司が法律違反の命令を出してきた場合、あなたはどうか対処するか？

○あなたは明らかに自分が力不足なのにも関わらず昇進のチャンスがあった場合、引き受けますか？
それとも断りますか？

○あなたの短所を3つ教えて下さい。

○あなたの地元の自慢話をしてください。

○出身地のPRをプレゼンテーションしてみてください。

○ふるさとを簡単に紹介して下さい。

○なぜ法学部なのに、この業界（テレビ局/マスコミ）を志望したんですか？

○この研究内容であれば当社ではなく他の会社の方が良いのではないですか？

ポイント

“業界や企業について、どれだけ研究しているか？”そこから興味や本気度を確認しています。しっかり調べている人ほど志望度が高い…と採用者は考えますので、相手を知る努力を精一杯しましょう。

ポイント

価値観や考え方、対人能力などを総合的に問う質問です。“困ったら相談”がポイントです。

ポイント

自分の持っている情報を自分の視点で相手にわかりやすく語りましょう。普段から色々なことに興味関心を持って情報を得ることが大切です。



企業は様々な質問を通して、「能力」「意欲」「一緒に働きたいか？」などを知ろうとしています。さらに、回答の内容だけでなく、どう答えるか、どういう反応をするかも見られています。時にはあなたの素を見たくて答えにくい質問もされるかもしれません。そういう場面こそ落ち着いて素直に自分の言葉で伝えてみましょう。そのための事前の面接トレーニングはおすすめです！



グループディスカッションについて どんなテーマがありましたか？

フリーディスカッション型

- ・問題文（上司と部下の意思疎通が上手く取れなかった事でプロジェクトが失敗）を読み、出来事の根本的な原因を考えなさい。
- ・医療機器メーカー⇒あなたが人事になったとしてその企業の7つの資料（市場、強み、理念、歴史など）を用いて、求める人物像を考えてください。
- ・グループで仕事をする際に必要な能力を3つ挙げてください。
- ・あなたが面接官だったら、何を基準にして応募者を見ますか？3つ考えて下さい。
- ・あなたが働きたいと思う会社の条件を3つ挙げよ。
- ・東京以外で首都にするならどこか？
- ・当社らしさとは？
- ・仕事をする上で譲れないものとは？
- ・あなたにとって「おもてなし」とは？
- ・最高だと思う誕生日会を計画してください。
- ・ベンチャー企業の利点。
- ・テーマはグループ毎に自由に決めて下さい。
- ・社会人に必要なスキルは？
- ・今までにないイベント（ハロウィン等のような）を考えて下さい。

戦略立案型

- ・大学で食堂を作ることになりました。サラリーマンや地域の人にも来てもらうために、どのようなサービスをすべきか？ ヒント：4P（製品、価格、流通ルート、販促）を考えて。
- ・問題文（売り上げが落ちている店の現状・データ）を読んで対策を考えよ。
- ・楽天などのインターネットショッピングがある中で、我が社だからこそできることを考えよ。
- ・この会社が新たに事業を展開する地域としては、どこが良いでしょうか？「地域創生」をテーマに考えて下さい。
- ・東京オリンピックに向けてどのような商品を提案していくか？
- ・直営店の売上をどのように上げるのかについて、具体的に答えよ。
- ・航空業界の市場に対してどのように事業を拡大しますか？
- ・売れ行きの良いくない店舗（ラーメン店）の立て直しを考えなさい。
- ・この商業ビルでどんなブースやお店を出す？
- ・この店をヒットさせる方法。



レポート課題型

- ・高齢者は運転免許証を返納すべきか？
- ・クリスマスとハロウィンはどちらが経済効果が高いと思いますか？



様々なテーマがありますね。普段から色々なことに興味を持ち、自分なりの考えや意見を整理しておくことが大切です。そして、面接官は内容だけではなく、皆さんの人との関わり方やグループの中での役割の果たし方、姿勢も見ています。集団の中でのあなたの役割・姿勢から、社内での周囲との関わりをイメージしていると思ってください。



担った役割、準備、コツやポイントなど

役割

回答頂いた方から（複数回答有）

発表者	…4名
書記	…3名
タイムキーパー	…2名
役割なし	…15名

- 役割はタイムキーパーで時間の管理はしっかり行い計画的に議論を進める事が出来ました。
- 役割分担禁止というのがあった。
- 意見やアイデアを出す役割と発表役。
- 周りの雰囲気を見て、どの役割につくか、また“レーン”となった時に発言するようにしました。



- 私は書記をするか役割なしが多かったです。役割なしの時は、あまり発言していない人に「〇〇さんはどう思う？」など話をふるようになっていました。
- いつもどおりの自分を大切に無理にリーダーをするなど演じないよう心がけました。
- 自分の意見を言うことも大切ですが、周りの意見に耳を傾けることもポイントの1つであると思います。私は書記を担当しました。

準備

- グループディスカッション体験セミナーに2~3回参加して練習しました。
- 何が出されるかわからないので新聞、ニュースなどは必ず見ていました。
- 友人（班のメンバー）と、繰り返し時間管理も含めて練習を行いました。
- 早めに会場に行って他の応募者とコミュニケーションをとる。
- 議論の前に同じグループの人と話し合っておく。
- 要点を押さえて発表するために、練習する時間を作りました。
- HWのグループディスカッション体験セミナーに参加しました。
- 大学のグループディスカッショントレーニングに参加して、ポイントを知り、実際に体験して慣れることです。

コツやポイントなど

- 与えられたテーマに対し条件や目的を明確にし、それを参加者全員が共有し結論を出すことが大事であると感じました。
- 他の人と意見が分かれた時には率先して軌道修正する力も大切だと思います。あとは時間配分に気を付ければ良いと思います。
- 他の人の話に対してうなずく事や話をわかりやすくメモし、皆に見せる事、どの役割が来ても最低限にこなせるように準備する。
- 私は、人事の目を気にするよりグループディスカッションのメンバーやそこでの話に集中して楽しみました。
- 人の意見に便乗しすぎるのも良くないと思います。
- 他の人の意見を否定しないことだと思います。あとは受け身になるのではなく、積極的に話に参加すること（目線や姿勢）、相手の顔を見る、大きな声で発言する、相槌を打つことかなと思います。
- そのチーム全員で受かるつもりで…一方的な反論はさけ、人の意見を受け止めた上で話すことが大切です。
- 話している人の方を向いて話を聞く。常に笑顔で。周囲が緊張しているので、グループの雰囲気作りとして効果があった様に感じた。
- 役割の有無に関係なく積極的に発言することを意識しました。
- 私はもともと口数が少なく意見をあまり主張しない性格なので、あえて役割にはつかず、とにかく発言することに徹しました。
- 話し合った内容を発表する時に「実演」形式で発表したグループは人事の方の目に止まっていた！最初が一番皆緊張しているので、ちょっと沈黙が流れると思いますが、その時に「まず役割を決めましょう」等の第一声を自分が言うと、評価が高くなると思います。意外とすぐ良い案を出す人はあまりいないので、自分の考えた案は自信を持って言ったほうが良いと思います。



GDは、与えられたテーマについてグループで協力して制限時間内に結果を導き出すことが求められます。他者の意見に耳を傾け、自分も積極的に発言しましょう。どんな役割でもグループに貢献していれば大丈夫です。新卒応援HWでもGDセミナーを開催しています。自分に合った役割を探したり、他校の学生の意見なども聞くことができますよ！



就職活動を振り返って・・・

苦勞した点や今だから思う…やっておけばよかったこと

「SPIには苦勞したため、早めの対策が必要！」

応募者倍率が高かったり、有名な企業ほどSPIで落とされることが多かった。SPIができていれば他の就活生と差がつくと感じたが、面接や履歴書の対策をしながらSPIの勉強はきつく、事前の勉強が必要だと感じた。

「人前で発表するというのもっと経験しておけばよかったと思いました！」

人前で話すことが苦手だったので、初めは面接練習をするだけで緊張し、ストレスや疲れが溜まったからです。

「インターンシップに参加すること！」

3年生の夏に民間や他の公務員のインターンシップに参加しておけば、志望動機がもっと考えやすかったように思った。

「SPIや筆記試験対策、新聞を読むこと！」

就職活動が始まったからといって、いきなり新聞を読むことも出来ず、SPI対策も、早々と進む選考と共にしないといけないので、時間があるときにしっかりやっておけば良かったと思います。

「自己分析は早い時期に着手すべきでした！」 自己分析を行うことで自分の強みが明らかとなり「就活の軸」をしっかりと定める事ができます。そのうえで業界研究、企業研究すべきと考えました。

「早めのエントリーシート作成！」 本命の企業に送るエントリーシートが提出期限ギリギリというものがあったため。

「企業研究、自分のやりたいこと、できることが何かを考える！」 僕は一回内定をもらいましたが、その仕事は本当に自分がやりたい事なのかと考え、辞退してしまったため最初から良く考えて応募した方が良かったと思いました。

「学校のキャリアセンターには、しっかり足を運ぶこと！」 キャリアセンターには常に色々な情報が届いていたりしたので、しっかり足を運ぶべきだった。

「もっと前から、より多く面接練習をしとけばよかった！」 場慣れすることが最も大事だと思ったからです。



企業研究

●もっと幅広く企業を見ておけば良かったなと思います。マイナビなどには載っていない企業もたくさんあります。

●商品や店舗を利用したり、訪問するべき。

●OB・OG訪問、インターンシップなどで現場をもっと見ておけば良かったです。

●面接で会社の事業内容、売上高、従業員数、事業を展開している地域などを事細かに聞かれたことがあったので、そういった情報もきちんと調べ、覚えておくべきだと思った。

●3月よりも前に詳しく調べておくべきだった。3月から、ゆっくり調べ始めたら気づいた時に、受けたい会社のエントリーが終わっていたりした。

●とにかく説明会に行ってみて考えるといった感じでした。HPやパンフレットだけではよく分からないので、少しでも気になったら説明会に行った方がいいと思いました。行かなくて後悔した企業もあります。

●反省点は他社、他業界比較が甘かったことです。説明会のときに何となく質問をしていた事が多く、もっと自分の志望動機に直接プラスになる事を考えて、質問した方が良かったと思います。

●同業他社の比較が難しかった。ホームページを何度も見比べて、何故、この会社でないといけないのか明確にした。

●その企業がどんな事業に力をいれているのか？といった基本的なことを、1社1社きちんとおさえていれば良かったと思っています。

●各官庁のHPに説明会の詳細が載るが、いつUPされるか分からないため見逃すことが多かった。1次試験終了後は、毎日行きたい官庁の採用ページを見るべき。

●公務員は情報が少ないので、もっと政策などに目を通せば良かった。

書類対策

- ハローワークやキャリアセンターの信頼できる人に聞くべきだった。
- エントリーシート1枚書くにも時間がかかりました。事前に盛り込むべき内容を考え要領よく効率的に書くべきでした。
- 文章力のなさ、表現の仕方の難しさを感じました。エピソードやポイントを最初に箇条書きしておいて、そこから選んで文章を作りました。何度も書いて、添削してもらうことを繰り返し、書類を仕上げていきました。時間がなくて提出期限ギリギリで出してしまったものもあったので、もっと余裕を持って取り組みればよかったなと思います。
- 公務員試験は筆記試験の後に提出期限が短い為、面接カードの内容を考えることが難しかった。しかし、まずは試験に合格する事が重要なので、面接カードの事を考えるのは受験年の5月の終わりで十分だと思う。私は6月終わってから考え始め、少し焦った。
- 自己PRに一番重点を置いた。「強み」が難しかったので、エピソードを文字に起しHWの方と強みを考え、文字を丁寧に書くことに気をつけた。注) 面接時に興味を持ってもらう為、内容を細かく書き過ぎない。
- 就職活動が始まるまでに、もっとボランティアやアルバイトなど色々な経験をしておけば、エントリーシート等をもっと上手く楽に書けたと思いました。
- 書類は大変苦労しました。それぞれの企業に合わせて書く内容を変更します。また、エントリーシートは時数の制限がありますから、十分に注意してください。履歴書(手で書く)のスペースはさらにせまくて簡潔に書く力が必要です。
- 自分の本当の強みとそれがしっかり伝わるエピソード、書き方にたどり着くまでに時間が掛かり迷走した時期が長かった。志望動機が浅い、うそっぽいことが多かった。
- 間違った日本語や同じ言い回しになっていること等、自分では気づきにくい小さな過ちに気付かず提出してしまったこともあったため、他の人に1回読んでもらうことをおすすめします。

面接対策

- 長々と話してしまう癖が最後まで治らなかった。落ち着いて答えればもっと自分の考えや、自分らしさが伝わったはずなのに、と後悔することが多かった。
- あまり浮き沈みのない人生だったため「人生で一番～」といった質問に苦労した。大学時代は、もっと果敢にたくさんの方に挑戦し失敗するべきだったと思う。
- 事前の練習は非常に重要です。また相手から、どんな疑問が出るかを予想して答えを考えましょう。
- 「面接は慣れだ！」と言われ、3月から5月の間ほぼ週1回ペースで新卒応援ハローワークの個別面接やゼミに通い続けた。他の就活生やHWの方からアドバイスを受け面接の質を磨き、本番の緊張が減った。
- 面接本番は、緊張して上手く話せないことが多かったので、実際に口に出して話す「面接練習」をしておく必要がある。
- 「手の位置や足を揃える」「正しい姿勢をキープしておく」などの面接マナーが常にできていたのか、今思うと少し不安です。やることないくらい練習したのに不安で、必要以上にハローワークに行ったなと思います。自分の気持ちをコントロールできるようになっておけばな…と思います。
- 積極的に面接練習を何度もしておけば良かったと思います。練習すれば本番時の緊張が少しはなくなると実感しました。
- 結論から話すことや簡潔に話すことに苦労しました。自分の答え(基盤)を定着させるために何度も練習し、アウトプットすることが慣れに繋がると感じました。
- 緊張したり予想外の質問が来るととてもあせってしまうので論理的に話すのに苦労しました。
- 声を出しているつもりでも伝わらなかったり、頭の中をうまく整理できず、面接を行うと面接官に伝わりにくい面接になってしまう点に苦労しました。



就職活動は準備が重要です。業界や会社の特徴を理解する準備と、それに合った自分をプレゼンする準備です。また、新聞を読んだりニュースを見たりして社会に関心を持ちましょう。思いや考えを文章や言葉で適切に表現することは一朝一夕にできることではありません。でも、それを一人でやる必要はありません。最大限にサポートを利用して乗り切りましょう！



後輩へのアドバイス・内定のポイントなど

○最終的に内定がもらえたのは、熱意を伝えることができたことと、自分を作らず、解答を作らず、ありのままに臨んだことが大きかったと思います。人それぞれ考え方があると思いますが、やっぱり熱意は大切だと思います。本当にやりたいことを見つけて、その気持ちをぶつけること、等身大の自分を伝えることがポイントかなと思います。相手はプロなので嘘をつくとすぐに見破られます。あと、自分の気持ち、考えを1番信じてあげるべきなのは自分自身だと思います。自分自身を信じれるかですごく違ってくると思いました。就活をしていたら自分自身を見失うこともあると思うけど、そんな時も自分を信じてください。絶対に縁ある会社から内定をもらえます。ここがいい！と思える会社に内定をもらえるまで、妥協せずに取り組んでほしいです。そしたら絶対、後悔しないから。

○私は、もっと1社1社を大切に、自分の考えや思いを整理して固めて面接に挑むとよかったと思っています。なぜこの企業を志望しているのかという自分の気持ちが曖昧なまま、自信無さげに話して1次で落ちるという経験が多かったため。思っていない事を話したり、自分の考えがはっきりしないまま話すとそれは自分にも相手にも伝わるんだなと痛感しました。内定を頂けた企業では自分を自然に出すことが出来たと思っています。

○企業研究はしっかりやるべき！

ハローワークは沢山活用しましょう！

○就活の時にやってよかったなと思うことは「自己分析」です。自分はこういう人間なんですよ〜と、興味を持ってもらわないといけなからです。自分のことを知らずに自分は語れません。しっかりと自己分析をしていれば、相手に良い所を伝えることができます。

この面接官は自分と合わないな〜と思ってもくじけずベストを尽くしてください。ご縁は必ずあります。熱意と覇気で内定をつかみとって下さい。

○就職活動は早い時期から準備する事が大事だと思います。自己分析、企業研究から始めてエントリーシートを書く練習をしていけば就活解禁後には良いスタートを切る事が出来ると思います。又、ハローワークの職員さんと相談しながら就職活動を進めていくことで面接の受け方や書面の書き方のコツが分かってくると思います。

○キャリアセンターやハローワークで話を聞いてもらうことで、私自身のやりたいこと、就活の軸を明確にしていくことができました。新卒は皆「就活初心者」なので頼れるところにどんどん頼っていくと良いと思います！

○早めに練習、そして理解者を作る事。そして最後まで諦めない事が重要！

○公務員試験は、複数の試験に合格すればするほど有利です。たくさん併願して、1次試験に合格し、面接をたくさん受けることがポイントです。個人的に面接練習のため民間企業を受けるのは時間の無駄だと思います。公務員試験に向けてコツコツ勉強し、1次試験のあと面接練習を始めても十分です。面接では、「笑顔でいる」「ハキハキ話す」「背筋を伸ばす」ことがポイントです。

○大雑把でも良いから自分に合った業界（方向性）を見極めること。それと、面接はマナーばかりに気を使いすぎると、言いたいことも言えないから、それはソコソコに、気軽にお話をしに行く感覚で飾らず素の自分を出すこと。学校やキャリアセンター、ハローワークなど頼れる所は頼ること。この辺りが私がやって感じたことです。自分の直感や、やってきたことを信じて頑張ってください！



○内定がでたポイントは、どうしてその会社に入社したいのか台本通りではなく自分の言葉で伝えることができたからだと思います。これから、楽しいことも辛いこともあると思いますが、就活前より確実に成長することができるので頑張ってください。

○就職活動の準備はできるだけ早めに始め、自分のペースで頑張ることが大事だと感じました。あまり焦らず、自分のやりたい仕事についてじっくり考え、疲れを溜めないように就職活動を頑張ってください。

○自分の素をそのまま出せた事がポイントだと思います。明るく笑顔でハキハキと話をすると人は聞いてくれると思います。行きたい企業があれば早めに研究・エントリーシート作成することをお勧めします。

○内定が出るスピードは人それぞれ！
あせらずに頑張ってください！！

○自分に自信を持つことが特に大切だと思います。

○面接にとっても苦手意識があったのでできる限り練習するようにしました。そのため、多少のアドリブ力が身についたと思います。自分が苦手そうなことを意識して対策することが大切だと思います。行動するのが遅かったので、後悔しています。早めに動けば良い企業にもたくさん出会えると思います。頑張ってください。

○民間は、コミュニケーション・企業研究・専門分野の学習が大切です。公務員は1次は勉強、2次は人柄とはっきりしている試験なので、受験側も段階を経て、対策していきましょう！

○相談することで自分では気づけなかったことに気付くことができ、だんだん自信もついていき不安が解消出来ます。最後まであきらめずに頑張ることが大事だと感じました。

○内定を頂けるまで少し時間がかかりましたが、途中でやめたり企業研究を怠ったりしなかったことがポイントだと感じています。きっと上手くいかないことも多くあると思いますが、自分自身の将来のことなので、1つひとつ一生懸命考えて行動することが大切だと思います◎

○面接だと思って緊張するのはとてももったいないことだと思います。面接官との対話だと思って自分らしく話すことが大切ではないかと思います！何か困った時は、誰かに相談し息抜きをしながら就活を乗り切ってください！！

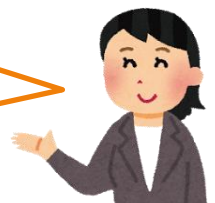
○色々な業種の試験を受けてみるのが大切です。就活が始まる前は、僕も本当に憂鬱でしたが、意外にすぐ慣れます。試験は落ち続けると面接でもあまり緊張しなくなったので、落ちても気にせず次に行きましょう。今だから思うことであって、当時は僕もそんなことは思えなかったので、落ち込みながらも頑張ってください。

- 1.日本の就職活動は何か、自国との違いは何かを勉強しましょう。
- 2.最後まであきらめないで頑張りましょう。

○自分が興味のある分野に関連する仕事は、何があるかをしっかりと調べ、自己分析を通してその中から自分に合っている職種を決めることが大切だと思います。



自分自身が納得できるまで活動すること、それが大切なのかもしれませんね。そして、人に相談すること！うまく相談を活用しながら就職活動をすすめていきましょう。
辛い時や迷った時には、ぜひハローワークに相談に来てください。
諦めずに一緒に頑張りましょう。



ハローワークを利用して良かった点を教えてください！



○大学担当の相談員の方にエントリーシートの添削、個別面接の練習をしていただき、書面の書き方のコツや面接の受け答えの振り返りを通じて、自分らしい伝え方をつかむことができて良かったと思います。



○書類作成：新しい視点から考えることが出来るようになった。
面接対策：細かいところまで指導して頂き、自分では気づけなかった点が修正出来た。
相談：自信を持って行動できるようになった。



○私は本当に新卒応援ハローワークを利用して良かったと思っています。利用していなかったら、おそらく今の自分はいなかったと思うし、ここまで頑張れなかったし、今もらっている内定も貰えなかったかもしれません。それほど私にとっては大きな存在です。大学のキャリアセンターでは十分に時間がとってもらえなかったけど、新卒応援ハローワークでは、たくさん時間をもらえて、親身になってくださいました。たくさん話を聞いてもらえて、メンタル的にも、すごく支えてもらっていたし、エントリーシートなどの添削や面接練習もたくさんしてもらって、すごく向上できる環境でした。しんどい時や折れかけている時、声をかけてもらって最後まで頑張ることができました。考えを押し付けることはしないで、私の考えや気持ちを尊重してくださって、悩みを聞いてくださったり、励ましてくださったり…本当に感謝でいっぱいです。常に気にかけてくださり救われました。



○書類から面接まで手厚いサポートをして下さる。頭の中で気持ちの整理がつかなかったときに親身に相談に乗って下さって整理ができスッキリした。自分では良いと思っていたことも客観的に評価して下さったおかげで、まだまだ足りない点が多いと気づくことができた。



○やはり、書類作成や面接練習といった就職活動の基本なことが出来るため良かった。また電話でスケジュールを入れる事が出来、都合がつけやすい所。



○書類を作る時のテンプレートがあったりして、考え方が楽になったこと。面接でのコミュニケーションに不安があったけど「十分、力がある」と評価してもらって自信につながったこと。



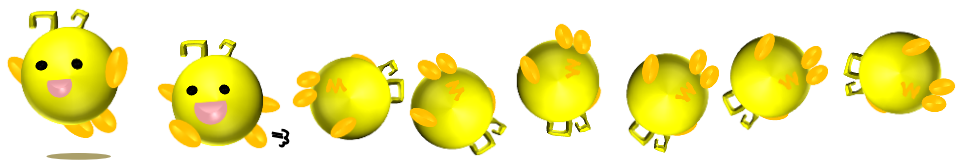
○エントリーシートを書いて行き詰った時に、色んなアイデアを出して貰いました。面接対策は、企業に合わせて質問を変えた練習をやらしてもらえました。なかなか練習する機会がない集団面接の練習もすることができました。面接でのアドバイスや選考の前にはいつも励ましのお言葉を貰いました。



○悩みも聞いてくれて、すごく楽になった。



○経験をもとにお話ししてくれるので、どこよりも信頼でき、就職活動を成功させるには行ったほうがよい！



○県外の大学に通っているのですが、広島に帰省したとき相談にのってくださったり、グループディスカッションや面接の練習ができたことはとてもありがたかったです。また、ハローワークでの経験は自信にもつながりました。



○公務員予備校の模擬面接は1人15分だったが、ハローワークは約45分練習し、粘り強く相談に乗って頂けた。担当のジョブサポーターの方が毎回見てくれるので、安心できます。



○新卒応援ハローワークの良い最大のポイントは担当制であることだと思います。1次試験で落ちたり、面接で上手くいかなかったりもずっと応援して下さる存在だと感じたからです。3月初旬の頃は不安でいっぱいでしたが、自分に自信が持てるようになり、面接では普段の自分でいられるくらいになっていました。添削や面接のアドバイスだけではなく、「よし、頑張ろう!」と奮起させてくれる存在でもあり、とても心強かったです。



○書類作成についてよく教えていただいた。面接対策は、実際に聞かれるであろう質問で練習できた。グループディスカッションでは知らない人とディスカッションでき、本番の緊張を感じられた。詳しく就職先などの相談もできた。



○書類の添削や面接の対策がしっかり出来た。小さな事でも、悩んだ時には相談に乗って下さり、とても精神面で心強かった。



○一人で悩んだり不安になったりしたとき、相談をしに行ける場所です。担当の方に本当に親身になって話を聞いていただき、また次も頑張ろうという前向きな気持ちになれました。



○ハローワークでは書類添削や面接練習を主にやっていただきました。志望動機を考えるのが一番難しかったのですが、一緒に考えてもらった時に、一人では思い浮かばなかったことも考えられたので、そこが一番良かった点です。相談することによって、少し不安なども和らいだと思います。



○繰り返し、担当者の方と練習したところが面接時に出て、堂々と面接ができた点。面接に関する情報をもらえるため、対策もしやすかった。



これから就職活動を始める皆さん！不安なことわからないことがたくさんあると思います。新卒応援ハローワークのジョブサポーターは、あらゆる業界・企業・職種での、経験豊かな人が支援活動をしています。お一人おひとりに合わせた支援を行いますので、気軽にご利用下さいね。



新規卒業見込者

卒業後3年以内の方

就活 応援します!!



さまざまな支援であなたの就職をサポートします!!

自分を 知る

- 職業適性検査の実施!
(VPI・GATB・レディネス
キャリアインサイト
OHBYカード)
- 相談しながら自己分析



相談

- どんな不安も相談!
- 個別支援プログラムで、
あなたのペースで個別に
計画的な就職支援もできます!



情報を 集める

- 全国各地の求人情報の検索!
- 求人選び～情報提供!
- 事業所セミナー開催!



応募

- 職業紹介
- 合同就職面接会開催!
- 職種別面接会・サポート選考会開催!

準備・ トレーニング

- 書類対策・面接対策・マナー対策
グループディスカッション対策
のセミナー随時開催!
- 個別に書類作成のお手伝い!
- ES・履歴書・職務経歴書など
の添削!
- 面接のトレーニング!



ジョブサポーターにご相談ください!

「どこから活動を始めていいかわからない」
「自分のやり方でいいの不安」
「頑張っているのにうまくいかない」など、
どんなことでも構いません。
ジョブサポーターがあなたの就職活動をお手伝いしますので、気軽に相談してください。

広島新卒応援ハローワーク

〒730-0011
広島市中区基町12-8 宝ビル6F

TEL 082-224-1120
FAX 082-225-0381

■利用時間 月～金 9時30分～18時00分
■休日 土・日・祝日・年末年始



ホームページ

*セミナー情報、
面接会情報を
Get!



大卒等就職情報 WEB提供サービス

*全国情報をGet!

